

## 女性の力を活かした道づくり～里山の再生に向けた「みちカフェ」の取り組み～

「みちカフェ」 管理分科会メンバー ○伊藤 かよ子  
メンバー ○平石 美智子

### 1. 活動の背景・方針・目的

「みちカフェ」は、一般国道176号名塩道路の周辺に住む一般女性が集まり「道づくりに関する検討や提言を行っている」団体です。もともとは「道づくりに生活者である女性の視点を活かしたい」という国土交通省阪神国道事務所の呼びかけで集まり、平成15年11月に設立された団体ですが、3年の活動を経て、現在はメンバーそれぞれが希望するテーマ（道路管理、道路景観）に分かれ、自主的な活動を行っています。

今回報告させて頂くのは、その中の道路管理をテーマとする管理分科会の活動です。管理分科会では平成16年度に「みちカフェ」メンバー全員で考えた「みちカフェ計画案 ～里山再生案～」の実現に向けた活動を行っています。この計画の対象となっているのは名塩道路建設のために自然が改変された道路事業用地（兵庫県西宮市山口町の名塩道路沿い、呼称：みちカフェ計画地）です。管理分科会ではこの地を周辺の山々と同じ里山（コナラ林）に戻すため、「地域性苗木による植樹及び育樹に関する活動」を進めています。

### 2. 活動内容

管理分科会では、メンバーだけでなく地元の方々にもご協力頂き、以下の活動を行っています。

#### ①管理分科会メンバーによる苗畑の管理活動

管理分科会では「みちカフェ計画地」に植えた苗木の水まきや除草等の植栽管理の活動を行っています。普段はメンバー11人が4グループに分かれローテーションを組み、週に1回（グループごとには月に1回）の活動を行っています。平成18年の夏は地元の福祉施設や婦人会にもご協力頂き、週に2回の活動を行いました。また、2ヶ月に1回はメンバー全員が集まる定例会を行い、苗木の管理に関する報告や今後の相談、イベントの企画等を行っています。

#### ②地域住民の方々と共に「植樹イベント」

管理分科会が企画・運営し、「みちカフェ計画地」の苗畑に苗木を植える地元住民参加型の「植樹イベント」を行っています。すでに「第1回植樹イベント」を平成18年3月25日に実施し、「みちカフェ」メンバーの他、地元の小学生や保護者、福祉施設の方々、自治会・婦人会の方々等約100名に参加頂き、周辺の山々から集めた約250本のコナラ、ヤマザクラ等の苗木を植えました。

#### ③地元小学校の児童と共に「森の楽校」

管理分科会が企画・運営し、地元の小学生が名塩道路周辺の自然を学びながら「みちカフェ計画地」に植える苗木を育成する場として「森の楽校」を開催しています。「第1回森の楽校」を平成18年10月7日に開催し、一般公募で集まって頂いた7組16人の方々とともに地域の里山の植生観察とドングリの植え付けを行いました。また、この活動を小学校の総合学習に展開した「森の楽校 in school」を平成18年11月6日及び10日に地元の2つの小学校で開催し、3年生の児童約200人に約400ポットのドングリを植えて頂きました。

### 3. 今後の課題

「みちカフェ計画案」を実現するためには約3,000本の苗木が必要であり、また苗木が成長し森を形作るまでには8～10年という長い年月が必要です。このため、現在の活動が長期的に安定するよう「メンバーのモチベーションの向上」、「次世代の育成」、「より幅広い地域の方々の協力」、「学識者や行政の支援の獲得」等が今後の課題であると考えています。

また、今回報告させて頂く管理分科会だけでなく「みちカフェ」全体の活動や景観分科会の活動を充実させることも今後の課題と考えています。

# MICHI CAFE

## みちカフェ

女性の道づくり座談会

### 女性の力を活かした道づくり

### ～里山の再生に向けた「みちカフェ」の取り組み～

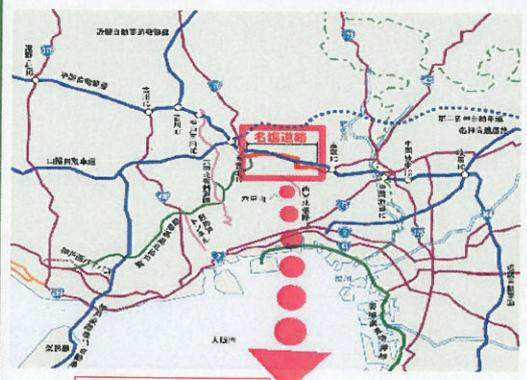
団体名 「みちカフェ」管理分科会

発表者 メンバー 伊藤 かよ子

メンバー 平石 美智子

関西元気な地域づくり発表会【地域協働・未知普請】

女性の力を活かした道づくり「みちカフェ」



～名塩道路事業とは～

- 事業概要：発展の著しい阪神北部地域と阪神都市圏（西宮市山口町～宝塚市栄町）を結ぶ延長約10.56kmの区間であり、現道拡幅を主体として計画されています。
- 改善効果：本区間の現状は、カーブが多く、慢性的な交通渋滞と周辺環境の悪化が問題となっており、事業による改善が期待されています。



みちカフェ計画地 (イベント会場)

宝塚市

西宮市

名塩道路

名塩道路位置図

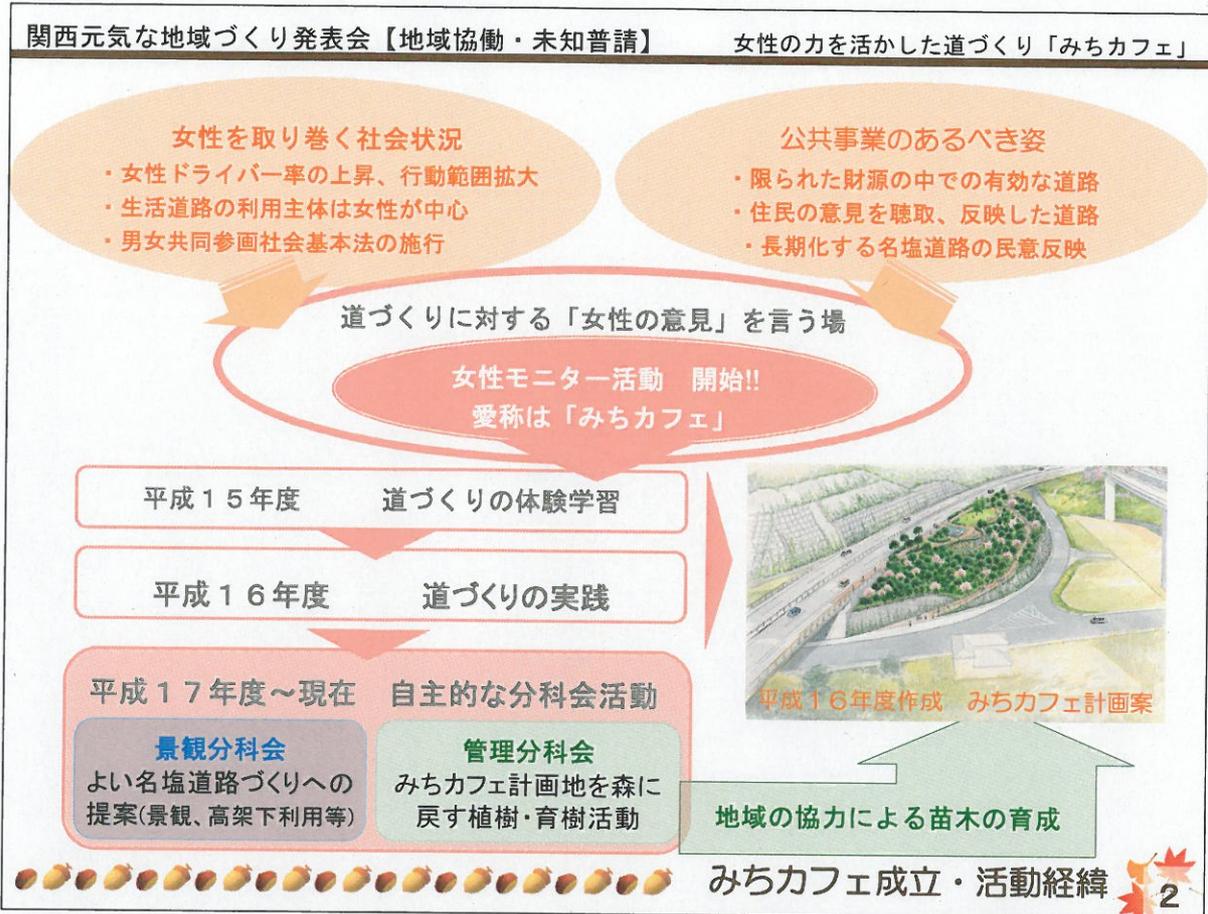
みちカフェ計画地 (イベント会場)

名塩道路



活動対象路線・活動場所







関西元気な地域づくり発表会【地域協働・未知普請】 女性の力を活かした道づくり「みちカフェ」

◆「森の楽校」とは？  
 地域の子供たちを中心に、名塩道路沿道の自然学習、道路沿道の自然再生等の活動を実施し、活動を通して地域の子供たちに名塩道路への愛着を高めて頂くもの

◆「みちカフェ」が主催し運営 ◆評価:アンケート「よかった100%(第1回)」

～第1回森の楽校～

- 実施日 平成18年10月7日(土)
- 参加者 7組16人の小学生児童と保護者
- 「身近な里山の植物の観察とドングリ拾い」

～第2回森の楽校～

- 実施日 平成18年12月9日(土)
- 参加者 8組25名の小学生児童と保護者
- 「名塩道路の道路植栽の見学と模型作り」



森の楽校 第1回、第2回

関西元気な地域づくり発表会【地域協働・未知普請】 女性の力を活かした道づくり「みちカフェ」

◆「森の楽校 in school」とは？  
 「森の楽校」を地元小学校の総合学習の一環に展開したもの

◆平成18年度の活動：  
 苗木をドングリから育成

◆開催校:地元の小学校2校

◆評価  
 先生:「生きた学習ができた」  
 「本植えまで責任持って育てる」  
 その他:「学校だより」への活動掲載  
 児童による活動発表会開催

■実施日  
 北六甲台小学校 H18.11.6(月)  
 山口小学校 H18.11.10(金)

■参加者 児童約200名、保護者、教職員

■樹種 アベマキ、コナラ400ポット



ドングリの植付けの様子



児童による発表



学校だより

森の楽校 in school

